

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年09月08日

計画の名称	来島拠点複合施設による防災まちづくり計画												
計画の期間	平成31年度 ~ 令和02年度 (2年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	飯南町												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本地区の複合的な拠点（住民が集う「人」の拠点、防災教育を行う「知」の拠点、防災備蓄品を集積する「物」の拠点）を整備することで、住民への安心・安全を担保するとともに、住民主体の防災まちづくりを促進する。</li> <li>・整備する施設の近隣に位置する来島小学校周辺の歩道、防犯灯及びカーブミラーを整備することで、子どもの安全・安心を確保する。</li> <li>・平成30年7月豪雨の被災状況を踏まえ、復興まちづくり支援施設の整備を行うことで、災害に備えたまちづくりを推進するとともに、地域活力の向上を推進する。</li> </ul>												
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	655	A	540	B	0	C	115	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	17.55	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		平成31		令和2
1	・野萱地区内人口に対する緊急避難場所収容人数を100%にする。 野萱地区の緊急避難場所収容人数の拡大 緊急避難収容率（収容人数 / 地区内人口 収容人数は 1人/4.0㎡で積算）	63%	%	100%
2	・地区防災活動（地区防災会議、防災訓練、消防活動等）の出席者数を1000人とする。 来島地区内防災関連活動行事の延べ出席者数の拡大 来島地区内防災関連活動行事の延べ出席者数	0人	人	1000人
3	・本施設に隣接する通学路を利用する児童数に対する災害時に本施設へ避難できる通学途中の近隣小学校児童数を100%にする。 災害時に施設へ避難できる通学途中の近隣小学校児童数の向上 災害時に本施設へ避難できる通学途中の近隣小学校児童数（災害時に本施設へ避難できる通学途中の近隣小学校児童数 / 当該通学路を利用する児童数）	0%	%	100%
4	・復興まちづくり整備施設の年間利用日数を180日にする。 復興まちづくり整備施設の年間利用日数 各種サークルの数 × 年間利用日数	120日	日	180日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	飯南町	直接	飯南町	-	-	都市防災総合推進事業(被災地における復興まちづくり総合支援)	防災まちづくり拠点(避難所)	飯南町						178		-	
	A13-002	都市防災	一般	飯南町	直接	飯南町	-	-	都市防災総合推進事業(被災地における復興まちづくり総合支援)	復興まちづくり支援施設	飯南町							362		-
											小計							540		
										合計								540		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	C13-001	都市防災	一般	飯南町	直接	飯南町	-	-	都市防災総合推進事業（被災地における復興まちづくり総合支援）	公立図書館の整備、カーブミラー、歩道、防犯灯の整備	飯南町						115		-	
		防災活動における知の拠点として整備する。住民及び各種団体が、図書館に設置された防災関連書籍等で知識の習得をすることで、防災意識を高め、より効果的な防災活動を行うことができる。																		
																			115	
											合計						115			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
飯南町において評価を検討し確定した。	R4.5月
	公表の方法
	ホームページによる
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	野萱地区の緊急避難収容率を100%まで向上させることができた。また、災害時に本施設へ避難できる通学途中の近隣小学校児童数を100%まで向上させることができた。 さらに、サークル活動の場として年間利用日数が215日に増加した。しかし、コロナ感染拡大により防災関連活動行事が予定した回数実施できなかったため、延べ出席者数は190人に留まった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>今後はコロナ収束を見据え防災訓練を行う方針とし、町報やHPで積極的に情報発信を行い訓練の延べ出席者が1000人を超えるよう措置を講じる。また、長寿命化計画により計画的に施設の更新を行い、引き続き安心・安全な複合施設となるように努める。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	最終目標値	1000人
	最終実績値	190人
コロナにより十分な回数の訓練ができなかったため。		
3	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
4	最終目標値	180日
	最終実績値	215日